

# JIS

UDC 662.614.2

Z 9204

## 有効エネルギー評価方法通則

JIS Z 9204<sup>-1991</sup>

(2002 確認)

(2006 確認)

平成 3 年 9 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 55.3.1 改正：平成 3.9.1

官報公示：平成 3.9.13

原案作成協力者：社団法人 日本機械学会

審議部会：日本工業標準調査会 資源エネルギー部会（部会長 福原 元一）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 有効エネルギー評価方法通則

Z 9204-1991

General rules for energy evaluation method  
by available energy

1. 適用範囲 この規格は、エネルギーに関係する工業設備について有効エネルギー評価を行う場合の原則について規定する。

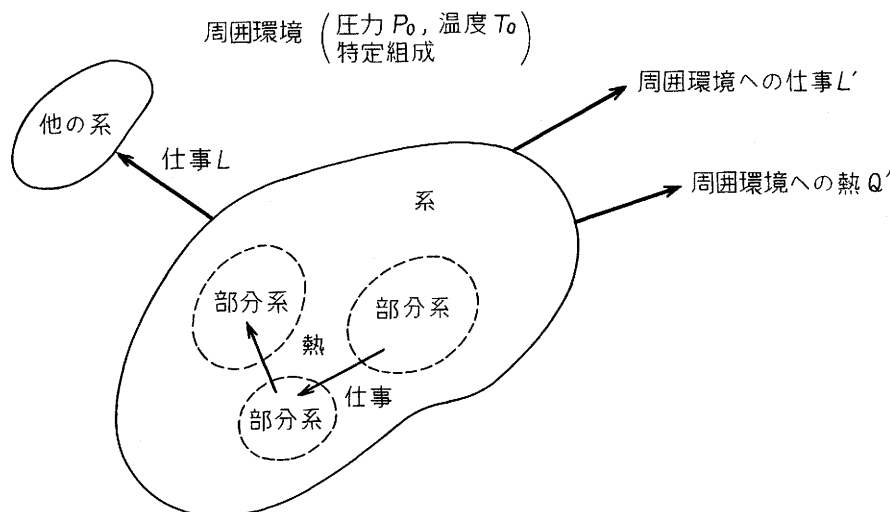
備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS Z 9202 熱勘定方式通則

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) 状態 圧力、温度、密度、組成など熱力学的状態量で定まる状態。
- (2) 系 物体又は物体の集合体が、その状態の変化に伴い、他の系に対し仕事 $L$ だけを与え(熱の交換はしない)、周囲環境に対し仕事 $L'$ 及び熱 $Q'$ を与えるもの(図1)。

図1 系



備考1. 図2 (境界線 I の範囲内) に系の具体例を示す。

2. 一般に、一つの系を幾つかの部分系に分けることができる(図1, 図2)。この際、部分系と部分系間に熱の交換(伝熱)のあるような分割が必要な場合は、これらの部分系をまとめて一つの部分系(他の系と熱の交換をしない。)としたものに対して通常の系の法則が適用できる。
3. 仕事 $L$ は、機械の仕事、電力、その他一切の力学的仕事をいう。